

事 務 連 絡
令和 5 年 4 月 3 日

地区薬剤師会 医療保険担当役員 殿

公益社団法人 東京都薬剤師会

調剤報酬点数表における「連携強化加算」の施設基準等の取扱いについて
(令和 5 年 3 月 30 日付事務連絡の続報)

平素より本会会務に格別のご高配を賜り、深く感謝申し上げます。

さて、令和 5 年 3 月 30 日付でお知らせいたしました標記の取扱いについて、厚生労働省より下記の疑義解釈が発出されましたのでご連絡させていただきます。

今般の疑義解釈では、厚生労働省のホームページへ取扱い薬局としての掲載の有無に関わらず、薬局において内側、外側の見やすい場所に、掲示を行う事等、広く周知をすることによって、令和 5 年 3 月 24 日厚生労働省保険局医療課事務連絡の 1. ①を満たしている、とされました。

なお、申請する場合には、夜間・休日等の対応を記載したポスター等（当会ホームページのお知らせ欄に掲載）を添付して申請を行うようお願いいたします。

ご多忙中恐縮ではございますが、ご確認いただき、貴地区会員薬局へご周知並びにご指導方よろしくお願いいたします。

記

【連携強化加算】

問 1 「調剤報酬点数表における「連携強化加算」の施設基準等の取扱いについて」（令和 5 年 3 月 24 日厚生労働省保険局医療課事務連絡）について、
地域において薬局・店舗販売業や自治体との連携・協力を通じて、夜間休日などであっても新型コロナウイルスに係る抗原定性検査キット（以下「抗原検査キット」という。）を地域住民が入手できるような販売体制を取っていることで、同事務連絡の 1. ①を満たしていると解してよいか。

（答）よい。なお、開局時間、時間外対応（対応方法・連絡先等）等の抗原検査キットの販売体制について、自治体、関係団体等（都道府県薬剤師会又は地区薬剤師会等）のホームページ、広報誌等において広報することや、薬局において内側及び外側の見やすい場所に掲示を行うこと等、広く周知すること。

東京都薬剤師会 医療保険課
E-mail : hoken@toyaku.or.jp

日 薬 業 発 第 2 号

令和 5 年 4 月 3 日

都道府県薬剤師会 担当役員 殿

日 本 薬 剤 師 会

副 会 長 森 昌 平

疑義解釈資料の送付について（その 46）

標記について、厚生労働省保険局医療課から別添のとおり連絡がありましたのでお知らせいたします。

疑義解釈資料につきましては、令和 5 年 1 月 13 日付け第 395 号（その 39）ほかにてお知らせしたところですが、今般、別添のとおり追加の疑義解釈資料が示されました。

今回示された疑義解釈は、①地域支援体制加算に係る届出を行っていることが要件であると、②新たに電子版お薬手帳ガイドラインが示されたことに伴う服薬管理指導料の算定要件の取扱いに関するものです。

取り急ぎお知らせいたしますので、貴会会員へご周知くださいますよう宜しくお願い申し上げます。

事 務 連 絡
令和 5 年 3 月 31 日

関 係 団 体 御中

厚生労働省保険局医療課

疑義解釈資料の送付について（その 46）

標記につきまして、別紙のとおり、地方厚生(支)局医療課、都道府県民生主管部(局)国民健康保険主管課(部)及び都道府県後期高齢者医療主管部(局)後期高齢者医療主管課(部)あて連絡しましたので、別添団体各位におかれましても、関係者に対し周知を図られますよう協力方お願いいたします。

事 務 連 絡
令和 5 年 3 月 31 日

地 方 厚 生（支）局 医 療 課
都道府県民生主管部（局）

国民健康保険主管課（部） 御中
都道府県後期高齢者医療主管部（局）
後期高齢者医療主管課（部）

厚生労働省保険局医療課

疑義解釈資料の送付について（その 46）

診療報酬の算定方法の一部を改正する件（令和 4 年厚生労働省告示第 54 号）等については、「診療報酬の算定方法の一部改正に伴う実施上の留意事項について」（令和 4 年 3 月 4 日保医発 0304 第 1 号）等により、令和 4 年 4 月 1 日より実施することとしているところであるが、今般、その取扱いに係る疑義解釈資料を別添のとおり取りまとめたので、本事務連絡を確認の上、適切に運用いただくようお願いします。

調剤報酬点数表関係

【連携強化加算】

問1 「調剤報酬点数表における「連携強化加算」の施設基準等の取扱いについて」(令和5年3月24日厚生労働省保険局医療課事務連絡)について、地域において薬局・店舗販売業や自治体との連携・協力を通じて、夜間休日などであっても新型コロナウイルスに係る抗原定性検査キット(以下「抗原検査キット」という。)を地域住民が入手できるような販売体制を取っていることで、同事務連絡の1. ①を満たしていると解してよいか。

(答) よい。なお、開局時間、時間外対応(対応方法・連絡先等)等の抗原検査キットの販売体制について、自治体、関係団体等(都道府県薬剤師会又は地区薬剤師会等)のホームページ、広報誌等において広報することや、薬局において内側及び外側の見やすい場所に掲示を行うこと等、広く周知すること。

【服薬管理指導料】

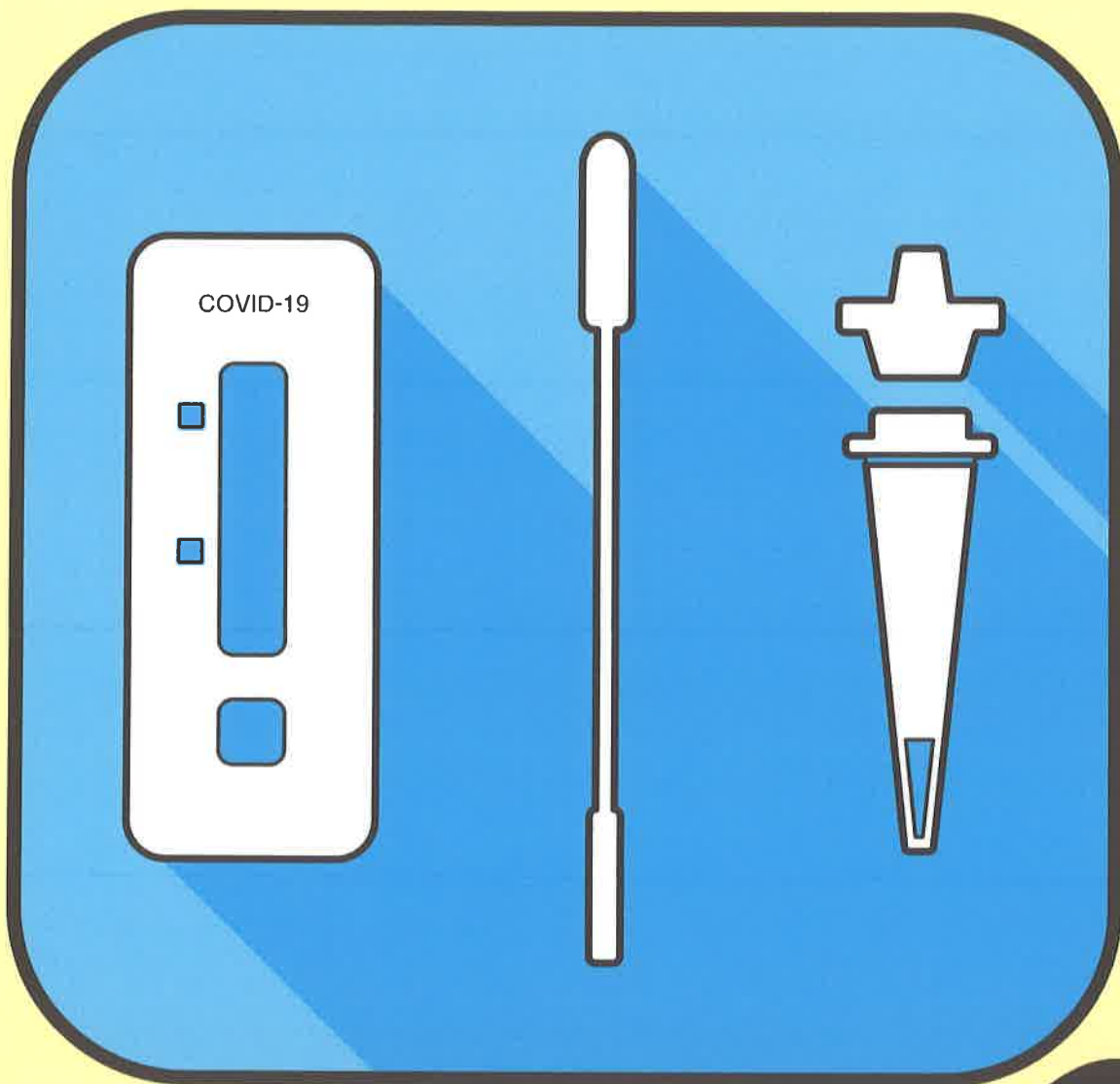
問2 電子版のお薬手帳について、「お薬手帳(電子版)の運用上の留意事項について」(平成27年11月27日付け薬生総発1127第4号厚生労働省医薬・生活衛生局総務課長通知。以下「留意事項通知」という。)に代えて、新たに「電子版お薬手帳ガイドラインについて」(令和5年3月31日薬生総発0331第1号厚生労働省医薬・生活衛生局総務課長通知。以下「ガイドライン通知」という。)が示されたが、服薬管理指導料における電子版の手帳の扱いについて、どのように考えればよいか。

(答) 電子版の手帳については、ガイドライン通知の別添の「2. 運営事業者等が留意すべき事項」を満たしていれば、紙媒体の手帳と同様の取扱いとする。その際、保険薬局においては、同別添の「3. 提供薬局等が留意すべき事項」を満たす必要がある。

なお、ガイドライン通知において、「実装すべき機能」については、本通知の発出から1年を目処として実装」とされているため、令和6年3月末までは従前のとおり、留意事項通知の「第三 運営事業者等が留意すべき事項」を満たした手帳であれば、紙媒体の手帳と同様の取扱いとするが、引き続き、保険薬局においては、同通知の「第二 提供薬局等が留意すべき事項」を満たす必要がある。

抗原検査キット

当薬局で取り扱っています



気軽にお声がけください



公益社団法人 東京都薬剤師会

